

# エコワンポイント

## 3R 推進月間



### 【具体例】

国内のごみの最終処分場の現状をご存知でしょうか？  
最終処分場の残余容量は 9,666 万 $\text{m}^3$ (令和 4 年度末時点)で、  
このままのペースでごみを出し続けた場合、あと 23.4 年で処分場が  
満杯になり、ごみの埋め立てができなくなります。  
ごみの廃棄ができないと公衆衛生問題などが発生し、自然環境にも  
悪影響を及ぼします。未来の安全な生活と自然環境を守るため、  
3R を推進していきましょう。

出典：環境省ホームページ  
[https://www.env.go.jp/press/press\\_02960.html](https://www.env.go.jp/press/press_02960.html)  
報道発表資料 一般廃棄物の排出及び処理状況等(令和 4 年度)について



『3R』を推進していきましょう！

#### 「リデュース」

- ・詰め替え容器に入った製品や簡易包装の製品を選ぶ
- ・利用頻度の少ないものは、レンタルやシェアリングを利用する
- ・耐久性の高い製品や省資源化設計の製品を選ぶ

#### 「リユース」

- ・使用済製品を回収して、本体や部品を再利用する  
自動車部品：バンパー・ドア・フェンダー・ランプ類 など

#### 「リサイクル」

- ・不用品や廃棄物を再生して利用する  
廃ペットボトルから洋服を製造(マテリアルリサイクル)  
⇒ごみの正しい分別が大事



ピットサークル燕店 CMC中越モータース株式会社